



平成28年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月11日

上場会社名 インスペック株式会社

コード番号 6656 URL <http://www.inspec21.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菅原 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 富岡 喜栄子

TEL 0187-54-1888

四半期報告書提出予定日 平成27年9月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年4月期第1四半期の連結業績(平成27年5月1日～平成27年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第1四半期	302	—	△83	—	△93	—	△110	—
27年4月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年4月期第1四半期 △62百万円 (—%) 27年4月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年4月期第1四半期	△42.62	—
27年4月期第1四半期	—	—

(注) 前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成27年4月期第1四半期の数値及び対前期増減比率は記載しておりません。
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年4月期第1四半期	2,028	765	28.3	220.63
27年4月期	2,048	694	28.3	222.55

(参考) 自己資本 28年4月期第1四半期 573百万円 27年4月期 578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年4月期	—	—	—	—	—
28年4月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年4月期の連結業績予想(平成27年5月1日～平成28年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	1,000	—	10	—	△20	—	△50	△19.22
通期	2,500	—	210	—	170	—	100	38.44

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年4月期1Q	2,601,300 株	27年4月期	2,601,300 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年4月期1Q	— 株	27年4月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年4月期1Q	2,601,300 株	27年4月期1Q	2,601,300 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年5月1日～平成27年7月31日）におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境が改善し、日経平均株価指数の上昇など、緩やかな回復基調が続きました。一方、海外においては、米国では消費や設備投資の増加により景気は拡大基調が続いており、欧州ではギリシャ債務問題が再燃しているものの、英国やドイツでは回復傾向が見られました。中国をはじめとする新興国では先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は302百万円、営業損失は83百万円、経常損失は93百万円、親会社に帰属する四半期純損失は110百万円となりました。

なお、当社は前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業（当社）

当第1四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますA V I（自動最終外観検査装置）及びA O I（プリント基板のパターン検査装置）の引合いや受注は引き続き堅調に推移しておりますが、現受注案件につきましては第2四半期以降に納入が多いことから、売上高は低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は94百万円となり、セグメント損失は101百万円となりました。

②精密基板製造装置関連事業（First EIE SA）

当第1四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますフォトプロッター（基板のフィルム原版を印刷する装置）が売上を牽引し、堅調に推移しております。

この結果、当事業の売上高は203百万円となり、セグメント利益は19百万円となりました。

③デジタルパソロジー関連機器事業（テラ株式会社）

当第1四半期連結累計期間におきましては、バーチャルライドシステムの販路拡充に努めており、受注活動に注力しましたが、売上高は低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は4百万円となり、セグメント損失は1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末に比べ20百万円減少し、2,028百万円となりました。これは主に、現金及び預金154百万円の増加、受取手形及び売掛金241百万円の減少によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ91百万円減少し、1,262百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金16百万円の減少、未払金37百万円の減少、長期借入金26百万円の減少によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、765百万円となりました。これは主に、資本剰余金73百万円等の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月期の第2四半期（累計）及び通期の業績予想につきましては、平成27年6月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後に実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は73,791千円増加しております。また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金が73,791千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	287,594	442,082
受取手形及び売掛金	642,053	400,779
商品及び製品	50,516	62,816
仕掛品	200,769	225,730
原材料及び貯蔵品	84,350	73,248
その他	78,563	97,275
貸倒引当金	△13,598	△14,344
流動資産合計	1,330,249	1,287,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	192,249	189,666
機械装置及び運搬具（純額）	38,691	32,498
土地	20,350	20,350
建設仮勘定	13,777	13,777
その他（純額）	6,811	18,550
有形固定資産合計	271,879	274,842
無形固定資産		
のれん	409,689	424,723
その他	20,741	24,917
無形固定資産合計	430,430	449,641
投資その他の資産	16,132	16,266
固定資産合計	718,443	740,749
資産合計	2,048,693	2,028,338
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	107,718	91,085
1年内返済予定の長期借入金	256,638	292,348
未払法人税等	5,432	11,528
製品保証引当金	40,748	32,573
その他	127,827	72,969
流動負債合計	538,364	500,505
固定負債		
長期借入金	795,026	732,439
繰延税金負債	20,044	19,876
資産除去債務	300	300
その他	—	9,538
固定負債合計	815,371	762,155
負債合計	1,353,736	1,262,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	485,400	485,400
資本剰余金	—	73,791
利益剰余金	93,506	△17,364
株主資本合計	578,906	541,827
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	32,106
その他の包括利益累計額合計	—	32,106
新株予約権	22,531	25,375
非支配株主持分	93,518	166,368
純資産合計	694,957	765,678
負債純資産合計	2,048,693	2,028,338

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日）
売上高	302,646
売上原価	167,486
売上総利益	135,160
販売費及び一般管理費	218,345
営業損失（△）	△83,185
営業外収益	
受取利息	190
その他	327
営業外収益合計	518
営業外費用	
支払利息	7,922
その他	2,580
営業外費用合計	10,502
経常損失（△）	△93,170
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純損失（△）	△93,170
法人税、住民税及び事業税	7,432
法人税等調整額	△167
法人税等合計	7,264
四半期純損失（△）	△100,434
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,435
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△110,870

（四半期連結包括利益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日）
四半期純損失（△）	△100,434
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	38,312
その他の包括利益合計	38,312
四半期包括利益	△62,122
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	△78,764
非支配株主に係る四半期包括利益	16,641

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。この結果、資本剰余金が73,791千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成27年5月1日至平成27年7月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	四半期連結損益 計算書計上額
	半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	精密基板製造装置関連事業	デジタルパソロジー関連機器事業		
売上高					
外部顧客への売上高	94,580	203,794	4,271	302,646	302,646
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	94,580	203,794	4,271	302,646	302,646
セグメント利益又は損失 (△)	△101,227	19,223	△1,181	△83,185	△83,185

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。